

私立 山口東京理科大学

取組名称 **地域連携に基づいたキーパーソンリーダー育成事業の構築**

取組担当者 **事務部長 佐々木 有朋**

1. 本学の概要

山口東京理科大学は、山口県及び小野田市（現山陽小野田市）より理工系大学設置の強い要請を受けて、1995（平成7）年4月に、東京理科大学山口短期大学を改組転換し開学した。本学の母体である東京理科大学は1881（明治14）年の創立以来129年、多方面に亘る科学技術者や研究者、理数系教員の輩出に努めてきた。山口東京理科大学は「理学の普及」という建学の精神と「実力主義」の伝統を継承し、地方における科学技術の振興と地域の活性化を基本理念としている。

また、学部構成としては工学部に機械工学科、電気工学科、応用化学科の3学科を設置している。現在（2010（平成22）年5月1日）の学生数は学部472名、大学院43名の合計515名である。なお、2009（平成21）年4月に基礎工学部からの組織改編を行った。

技術者教育においては、専門分野別第三者評価機関のJABEE（日本技術者教育認定機構）により我が国の高等教育機関で初となる全学認定を受けており、質の高い技術者教育プログラムの提供と、時代に即した教育内容を常に追究し、基礎学力とそれを応用できる柔軟性と創造性を併せ持った社会で活躍できる人材を育成している。

2. 本取組の概要

2. 本取組の概要

本学は2003（平成15）年度から、入学から卒業までの一貫した「キャリア支援プログラム」を導入し、学生が主体的に自らの進路を選択し、充実した学生生活を送るための組織的な取組を構築している。入学時から卒業まで、キャリアという視点の中で、学年ごとの目標を設定した上で、社会人として必要な常識やマナーの教授、資格の取得、さらには学年の枠を超えた先輩・後輩同士の交流等を通して、大学と社会とのつながりを図れるような人材育成のためのキャリア教育プログラムを運用している。この結果、2009（平成21）年度ま

で95%以上の高い就職決定率を達成してきた。

しかし、従来より山口県内への就職率は就職決定者の10%程度と地元への人材輩出が十分に果たされていない状況にあった。このため地元企業・高等学校、自治体等へ「地域産業界が求める人材」を意識調査し、その結果を基に2009（平成21）年4月「基礎工学部」から「工学部」への組織改編を行った。本取組は、本学の強みである地域連携に基づいたキーパーソンリーダー育成事業として、新たな視点から学生の就職支援態勢を構築するものである。

具体的には、地元企業・自治体等との連携を強化し、求人先の拡大を図るとともに、これまでのキャリア支援プログラムに地域キーパーソン育成に向け連携事業を展開していく。主な事業の柱は以下のとおりとなる。

- （1）学生の進路意識の多様化に応じて、キャリアや心理面でのカウンセラーを配置し、就職相談体制の強化を図る。
- （2）求人管理システムを整備し、企業訪問等で得られた情報を多面的に分析し、就職情報ナビに頼らないリアルな採用情報を学生に提供する。
- （3）地元自治体等との協働による企業訪問を通じて、求人先の拡大を図るとともに、地域キーパーソン育成のためのキャリア支援プログラムを構築する。
- （4）技術士と連携し、資格取得を促すとともに、リーダーとしての資質を育成する。
- （5）地元企業・高等学校・自治体等と定期的な事業評価報告会（写真1参照）を開催し、本事業の効果を検証するとともに、次年度以降の改善に繋げる。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

本取組は、経済状況に極力影響されない安定したきめ細かい就職支援態勢を構築し、学生個々の職業観に応じた満足度を高めることを目的としている。このために、地域社会を中心としたネットワークを強化し、

求人への増大、学生との相談体制の強化等、就職支援態勢の強化を図るとともにリーダー育成面においては技術士取得も含め、就職後の働き方、生き方の理解を深めることとする。本取組では、学生一人ひとりが納得し満足できる職業を選択し、適切な自己実現を図ることで、本学の基本理念である、人間性豊かな科学技術者の育成を達成するとともに、地域社会との連携を強化することによって、地域の行政や産業に貢献し、活性化に寄与できるキーパーソンを育成することを目標とする。



写真1 事業評価報告会



写真2 地元企業の工場見学

4. 本取組の具体的内容・実施体制

(1) 取組の具体的内容

(i) カウンセリング業務の充実

就職活動中、学生は多くの不安を抱え、自らの進路のあり方について悩みながらも行動しなければならない。こうした学生の中には特別なケアが必要な者も見受けられる。このため、個々の学生への内面からのサポート強化に向けてカウンセリング業務を充実させている。地元企業に精通したキャリアカウンセラー及び学生の心理面に詳しいカウンセラーを雇用し、一体での就職相談態勢を確立させている。学生の多様化に対応して、学生個々の精神面での負担を軽減させると

もに、社会への適応が困難な学生にも適切な就職指導を行う支援態勢を整備している。

(ii) 企業訪問時の最新情報を網羅した求人管理システムの構築

従来の求人管理システムの場合、受領した時期による求人情報のため、一元的で事務的な内容が多く、採用日程に即した情報は少なかった。こうした点で、企業訪問時に採用担当者から、直接見聞きした求人情報は、訪問時の採用段階に即したリアルタイムな情報である。

本学では、こうした企業訪問情報を人材支援室内での閲覧情報としていたが、求人管理システムを再構築することにより、インターネット上から閲覧することが可能となった。大学から離れた地域で就職活動を行う学生にとって、まさに最新の採用情報として活用されることとなった。

(iii) 地元自治体等との協働による企業訪問

地元自治体職員と協働した企業訪問を実施している。従来より地元企業に対して、教職員による企業訪問は実施されていたが、求人開拓という目的が優先されていた。採用のみならず、地元自治体と協働した地域連携を強化することで、「キャリア支援プログラム」にも地域キーパーソン育成という教育理念を浸透させることができる。具体的には、地元企業の工場見学(写真2参照)、山陽小野田市長講演会、地元企業を対象とした合同企業説明会の開催(写真3参照)、インターンシップ(写真4参照)等を実施している。



写真3 合同企業説明会



写真4 インターンシップ実習風景

(iv) 技術士との連携を通じたリーダー育成

本学ではJABEE（日本技術者教育認定機構）による全学認定を受けており、コース修了時には技術者としてのリーダー的資質が育成される。このため、現役技術士と連携した講演会を開催し、技術士の魅力や特典を学生に幅広く紹介するとともに、技術士の資格取得を促し、就職後の働き方や生きがいの充実等、職業観を向上させている。こうした連携の下、2009(平成21)年度には全国初となる、コース修了者に対する卒業時点における技術士補資格取得システムも構築されることとなった。(写真5参照)



写真5 技術士補登録証授与式

(v) 事業評価報告会の開催

本学では地域社会との連携強化を目的とした「山口東京理科大学セミナー」を開催している。山陽小野田市との共催で開催し、行政、企業、学校を交えた意見交換会を行っている。これまでも、地元企業と連携した人材育成、地元高校との接続教育、市民への貢献プラン等、4者（大学、行政、企業、学校）が一体となった街づくりに関して情報交換を行っている。今後は同セミナーを本事業における「事業評価報告会」として位置付け、事業の効果を検証するとともに、次年度以降の改善・発展に繋げ、地域社会との連携強化に貢献していく。

(2) 取組の実施体制

取組の計画立案については、学長を中心とした就職幹事会及び理窓技術士会やまぐち委員会が行い、実施については事務部人材支援室が中心となって、山陽小野田市、地元企業等の協力を得て行う。

5. 本取組の評価体制・評価方法

本取組では学生生活アンケートの結果を活用するとともに、「キャリア開発関連科目」の授業において就職意識調査を実施。その調査結果に関して、就職幹事会による分析・評価を年1回行う。また、山陽小野田市関係機関（山陽小野田市、小野田商工会議所、山陽商工会議所、山陽小野田市経済開発懇話会）と連携した事業評価報告会の開催によって、本事業を総括し効果を検証する。この事業評価報告会を開催することにより、次年度以降も継続して本事業を実施する基盤を確立し、地域社会との連携強化に貢献する。

なお、事業目標に対する達成度として、就職決定者の中で山口県内の就職決定率を30%以上とし、全体の就職決定率を95%以上としている。参考までに2009(平成21)年度の山口県内就職率は24.4%となった。例年、山口県内の就職率は10%程度のため、事業実施に伴い、その成果は確実に高まっている。また、山口県出身者に関しては43.9%が山口県内で就職している。(図1参照)

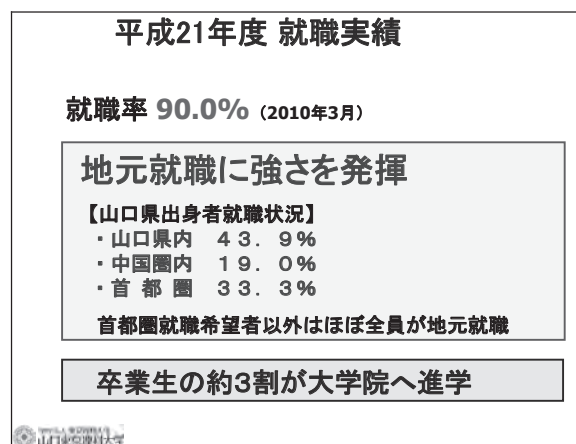


図1 平成21年度就職実績

6. 本取組の実施計画等

(1) 本取組の実施計画

本取組の実施計画は以下のとおりとなっている。

(i) 2009(平成21)年度

- 3月 本学教員・職員と自治体職員との協働による
地元企業訪問と、本学教員・職員による中四
国九州地区企業訪問
- 3月 求人管理システムの開発着手
- 3月 現役技術士による講演会

(ii) 2010(平成22)年度

- 4月 学生就職意識調査、山口県若者就職支
援センターキャリアガイダンスの開催
- 4月～2月 地元企業に根ざした人材による定期的
な企業訪問と就職相談の実施
- 4月～12月 求人管理システムの開発、導入
- 6月 技術士講演会の開催
- 8月～9月 地元企業を中心としたインターンシ
ップの実施、工場見学等
- 11月～12月 山口県経営者協会もしくは山口県若者
就職支援センターと連携した「地元企
業フォーラム」の開催
- 2月 技術士と連携した「企業研究セミナー」
の開催、山陽小野田市と連携した市内
企業訪問の実施
- 3月 山陽小野田市関係機関と連携した事業
評価報告会の開催

(2) 本取組における具体的な効果

本事業は、地方大学としての本学の特性を生かして、地域社会とのネットワークを強化し、新たな視点から学生の就職支援態勢の強化を図るものであり、具体的には以下のような効果が得られている。

- (i) キャリアカウンセラー、心理カウンセラーを雇
用し一体となった就職相談を実施することにより、物
理的・精神的両面からきめ細かい就職指導が可能と
なり、学生の満足度向上に寄与している。また厳し
い就職戦線が予想される中、就職活動に伴う学生の
精神的な負担を軽減し、社会への適応が困難な学生
に対しても自立に向けて適切な進路支援を実施す
ることが可能となっている。
- (ii) 企業訪問の実施や学生の企業見学・インターンシ
ップ等の強化によって、学生により多くの企業・業
種を紹介し、就職先の拡充に繋げている。また、よ
り多くの学生を地域の中核企業へ就職させること
によって、本事業の趣旨である、地域社会を支える
キーパーソンリーダーの育成に貢献するとともに、
本学と地域社会との連携が学生の就職支援を軸と
して深まり、教育研究への波及強化も期待できる。
- (iii) 求人管理システムの整備により、企業訪問等で得

られた情報をより詳細に分析して、幅広い角度から
の学生に対する情報提供や新たな企業開拓が可能
となり、就職支援活動の効果を高めている。

- (iv) 地元経済団体、企業等と連携した「職業教育」の
実施や地元就職を意識した「公務員受験対策講座」
(図2参照)の開講によって、大学だけでは対応が
難しい実践的な就職指導が可能となり、より多くの
学生を地元企業・官庁へ就職させることが期待でき
る。また、「職業教育」を授業科目の一環として開
講し、講演会やセミナー等多様な内容で実施するこ
とによって、学生に対し就職に関するより多くの情
報を提供し、必要な知識を修得させ、大学として組
織的に就職支援を行う体制を構築している。
- (v) 現役技術士による講演会や個別指導を実施するこ
とによって、科学技術分野で最高の国家資格である
技術士の資格取得者の拡充につなげる。個別指導の
導入により、技術士補資格の一括登録申請を行い、
学生の技術士資格に対する関心を高めるとともに、
よりきめ細かい指導によって、卒業後も継続的に資
格取得に向けた態勢を整備している。

大学内
講座
平成22年度 公務員受験対策講座の開講

大学内講座を下記のとおり開催いたします。

1 開講時期	第1期 基礎編①	平成22年5月 ～ 7月 (10回)
	第2期 基礎編②	平成22年9月 ～ 12月 (12回)
	第3期 実践編	平成23年1月 ～ 4月 (13回)

※ 詳細は「公務員受験対策講座のレシター」を参照してください。

2 対象 : 学部生、大学院生

3 講座内容 : 判断推理/数的推理/社会科学/自然科学

出題ウェイトの高い教養科目を重点的に実施します。講義と問題演習(過去問)を通して、公務員試験の特長を理解し、あわせて自己学習方法のマスターを最大の目標とします。

※ 実践編では直前対策を行います。また、模擬試験も実施します。

4 受講料 : 1コース 5,000円
※ 全コース申込者に対しては、大学が就学支援を行うため、10,000円で受講可能です。

5 申込期間	第1期 基礎編①	5月6日(木) ～ 5月19日(木)
	第2期 基礎編②	7月15日(木) ～ 9月22日(水)
	第3期 実践編	12月16日(木) ～ 2月1日(火)

※ 受講者が10名に満たない場合は中止することもあります。
※ 申込期間内に申込みできなかった場合、申込窓口にご相談ください。

6 申込窓口 : 2号館1階 人材支援室
※ 窓口で申込用紙の配付および受付を行いません。
※ 申込用紙は、CLASSからダウンロードできます。

7 講師 : YIC公務員専門学校 (山口市・JR新山口駅新幹線口徒歩5分)

講座開講にあたり、「公務員ガイダンス」(参加無料)を実施し、講座内容の特徴を説明します。
関心のある学生は、必ず参加してください。
公務員ガイダンス
日時: 5月6日(木) 16:20～17:20
場所: 5104教室

図2 公務員受験対策講座案内